

春漁情報第3報

平成30年2月19日

宮城県水産技術総合センター

TEL:0225-24-0139

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>

オキアミ調査速報

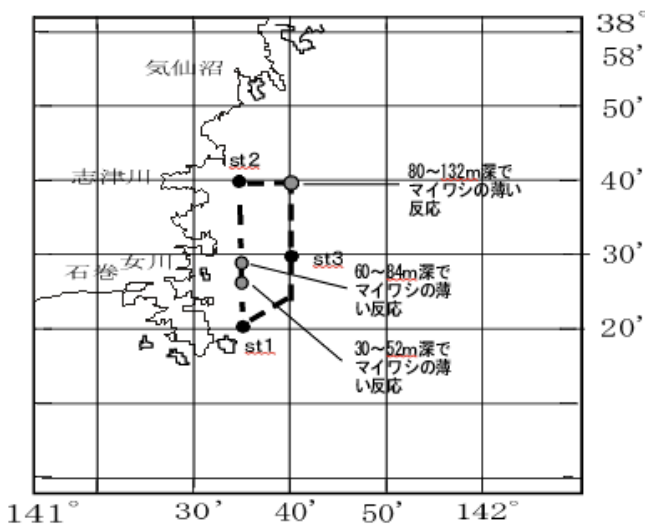
2月16日に県漁業調査指導船「開洋」によるオキアミ魚探調査及び水温調査を実施しました。概要は以下のとおりです。

今回の調査でオキアミらしき高周波に強く出る反応は見られず、マイワシと思われる反応がありました(図1)。オキアミは親潮の南下に伴い、まとまった群が形成され、漁場となります。現在、100m水深5℃を指標とする親潮第1分枝の先端は岩手県宮古沖30海里にあり、昨年よりも接岸していますが暖水塊に阻まれて停滞しています。今回の調査海域は親潮が波及しておらず、表層から底層にかけて8~9℃台の水温となっているため(表1)、オキアミは分散しているか、今回の調査海域よりも深い水深に分布していると考えられます。

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。次回調査は「みやしお」及び「開洋」により19~20日に実施、21日(水)の情報提供を予定しています。

表1 水温観測結果

CTD観測点	St.1	St.2	St.3	
月日				
北緯	38° 20'	38° 40'	38° 30'	
東経	141° 35'	141° 35'	141° 40'	
水深(m)	85	63	140	
水温(°C)	0m	8.70	9.10	9.30
	10m	8.93	9.28	9.50
	20m	8.92	9.27	9.47
	30m	8.93	9.24	9.46
	40m	8.93	9.19	9.44
	50m	8.93	9.13	9.43
	75m	8.92		9.37
	100m			9.33
	125m			9.31
	175m			
海底	8.84(83m)	9.13(61m)	9.31(139m)	



--- 開洋調査ライン ○ 反応 ● CTDによる水温・塩分観測

図1 オキアミ調査ライン